

サボテンテーマに
地産地消の講演会

春日井、試食も

地産地消について学
ぶ講演会が十三日、春
日井市庄名町の東部調
理場であり、市民三十
三人が参加した。

市食育推進給食会が
企画。市特産のサボテ
ンをテーマに中部大庇

用生物学部の堀部貴紀
助教(左)と、旭町でサ
ボテン商品を取り扱う
アンテナショップを開
く出口美紀さん(右)が
講演した。

堀部さんは、サボテ
ンの育て方や食品とし
ての効果、効能など
について説明。「サボテ
ンは食品としての可能
性を秘めている」と話

した。出口さんは「給
食にサボテンを使った
料理が年二回出ること
が市の地産地消の原点
になっているのでは」
と述べた。

講演後はサボテンを
使った学校給食メニュー
の試食もあり、参加
者たちがサボテン入り
のきしめんを使ったサ
ラダやスープ、コロッ
ケを味わった。



サボテンを使った学校給
食メニューを試食する参
加者たち。春日井市庄名
町の東部調理場で